

2月9日（月）「探究について」 神戸大学・石川教授の講義（産業社会と人間）



本日の「産業社会と人間」では、2年次から始まる「総合的な探究の時間」に向けた準備として、神戸大学の石川慎一郎教授を講師にお迎えし、「探究」についての講義を行いました。講演では、AI やテクノロジーの進化によって多くの仕事が代替されつつある現状が示されるとともに、AI にはできない人間固有の力として「新しい価値を生み出す創造力」の重要性が語られました。その上で、良い探究を行うための考え方として「お・は・い・お（面白さ・初めて・意義・驚き）」の視点や、「4C+1E（数える・比べる・聞く・集める・実験する）」という具体的な方法が紹介されました。生徒たちは、身近なテーマを徹底的に小さく具体化することが探究成功の鍵であることを学び、今後の探究活動に向けて意欲を高める貴重な機会となりました。